

## インプラントのメリットを再考する

より良い治療法を選択のために

インプラント治療は適切な処置とメンテナンスが行われれば、9割以上の成功率が見込めます。しかし一部では「インプラントはすぐダメになる」「インプラントの成功率はとても低い」といった噂が囁かれ、インプラントそのものが良くないものであると誤認している患者さんもいるようです。

インプラントには、他の欠損補綴では得られないメリットが数多くあります。患者さんがより良い治療法を選択できるよう、正しい情報を伝えることが必要です。

### 確実な咬合支持を得られる

とくにすれ違い咬合や遊離端欠損症例の患者さんに与えるメリットは非常に大きいものがあります。

### 力学的トラブルの回避

部分床義歯やクラウンブリッジでは残存歯に過剰な負担がかかります。残存歯を保護するという観点からも、インプラント治療は有効です。

### 固定性修復物が利用可能

義歯は取り外しをしなければならないという欠点があります。インプラントは食事や会話の最中に外れることや、金属部が見えることを気にする必要がないため、心理面においても優位だと言えます。

### 顎堤の吸収を抑制する

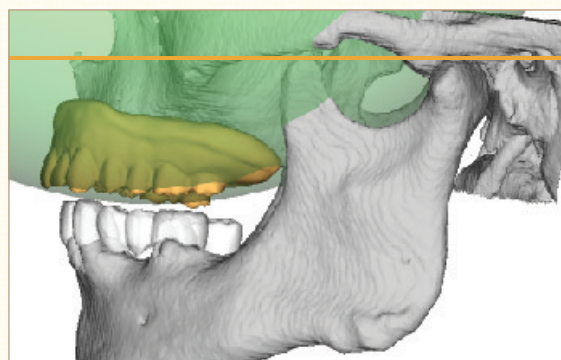
総義歯とインプラントオーバーデンチャー (IOD) で下顎臼歯部顎堤高さの減少度合いを比較したところ、総義歯よりもIODの方が有意に少なかった、との報告があります。

## メリット

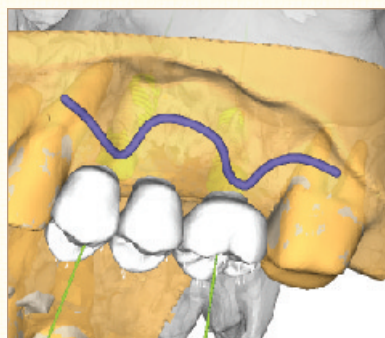


[著者名] Kordatzis K, Wright PS, Meijer HJ  
[雑誌名, 巻:頁] Int J Oral Maxillofac Implants. 2003;18:447-452.

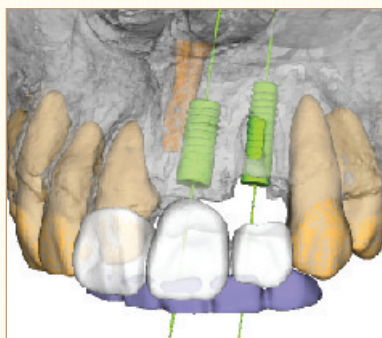
患者さんに正しい知識を提供するとともに、十分な診査・診断を行うことが重要なのは言うまでもありません。シミュレーションソフト BioNa® (ビオナ) は、患者さんの口腔内により近い状況を再現できるので、細密な診断が可能となります。



義歯とカンペル平面の関係



角化歯肉ライン



対合歯・プロビ

角化歯肉ライン、プロビジョナルWAX-UP、対合歯、義歯など、3次元スキャナーで計測できるものは合成が可能です。